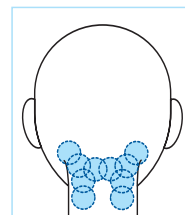


## プレ処理の手順



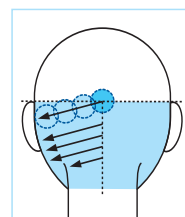
### 1 ■ 後頭部下側 (ヘムライン・リンパ周辺)

後頭部のヘムラインからリンパの周辺を10～15回パッティングをします。  
ここからプレ処理を始めることでビーワン(水)の浸透がよくなります。



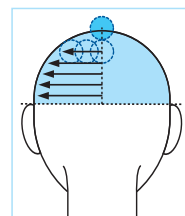
### 2 ■ 後頭部下側

後頭部を4ブロックに取り分け  
下側のセンターから右または左側を上から順に頭皮にパッティングをします。  
スライス線(頭皮)がしっかり見える状態にして  
スライス線に沿って1～2往復パッティングをして下さい。  
スライス幅は1～1.5cmくらいの間隔です。  
後頭部中央を何度も往復することでビーワン(水)がよく浸透するポイント  
“ぼんのくぼ”に確実に水分を供給することができます。



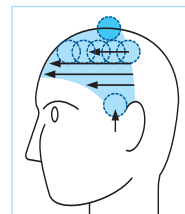
### 3 ■ 後頭部上側

頭頂部に10～15回パッティングをします。  
次にセンターから右または左側を  
後頭部下側と同様に上から順にパッティングをします。  
頭頂部の“百会”はビーワン(水)が最もよく浸透するポイントです。



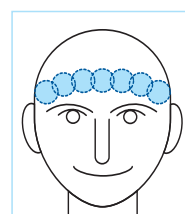
### 4 ■ 側頭部

側頭部も頭頂部から順に下へパッティングをします。  
揉みあげの周辺は斜め下から上に向かってパッティングをして下さい。



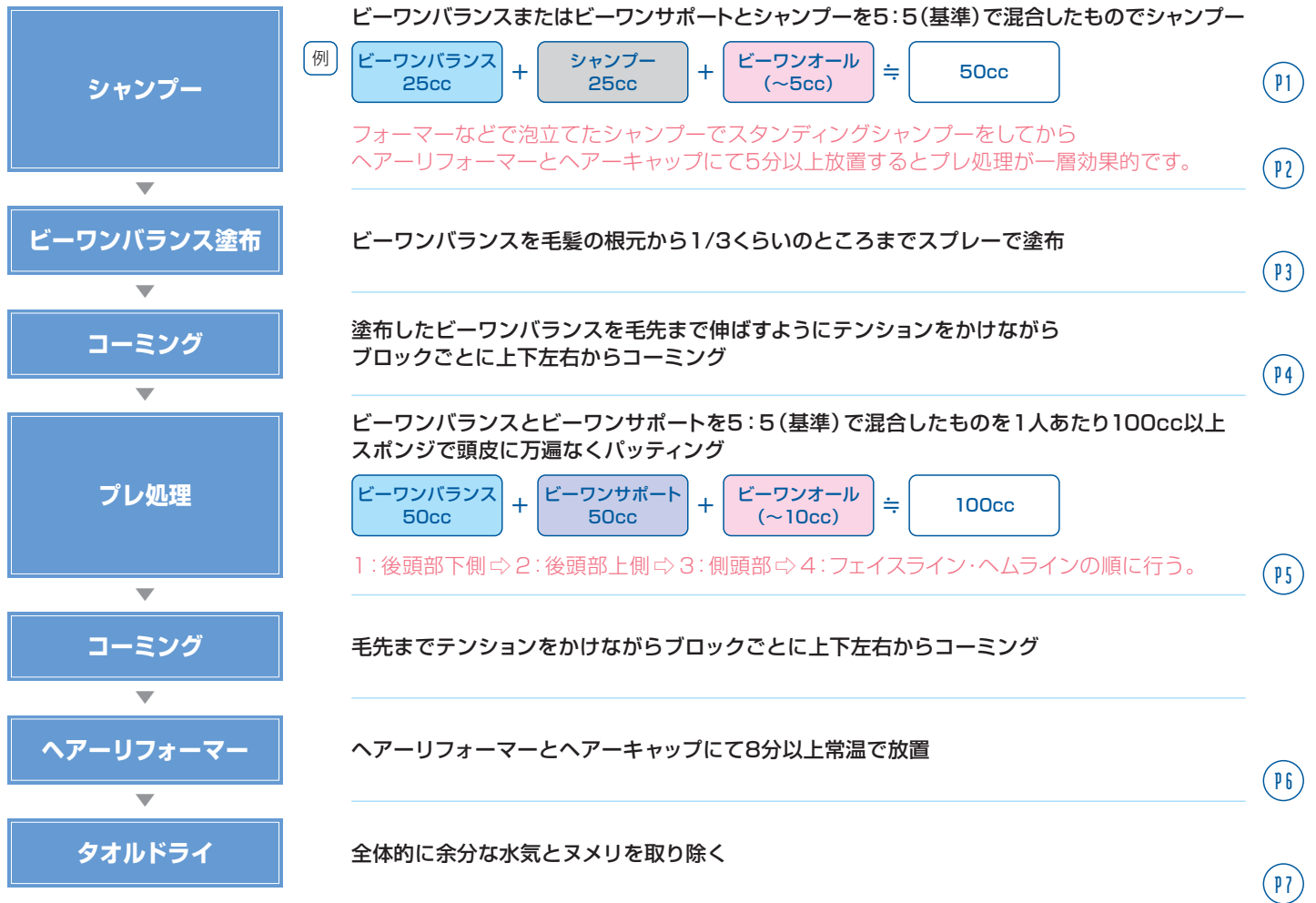
### 5 ■ フェイスライン・ヘムライン

髪の毛の生え際から1～2cm外側(額)までパッティングをして下さい。  
ここは薬液が流れてきたりタオルに溜まったりして  
カブレを起こしやすいポイントなので十分にパッティングをして下さい。



## プレ処理

全ての施術に共通するプレ処理の目的は頭皮にビーワン(水)を浸透させることです。



- POINT 1 ... ビーワンオールは混合した薬液の全量の10%を上限に添加して下さい。
- POINT 2 ... ビーワンシステムではプレ処理時のビーワン(水)の浸透を促進させるため、必ずシャンプーを行います。  
※ビーワンバランスまたはビーワンサポートとシャンプーの比率は5:5でなくても結構です。
- POINT 3 ... 水道水に含まれる塩素などによる髪へのダメージを緩和することが目的です。  
※ビーワンバランスをムダに塗布しないよう、毛髪の根元から1/3くらいのところまで塗布します。
- POINT 4 ... 毛先の損傷部分までビーワン(水)をしっかり吸着させ、ダメージ部分の修復を図ることが目的です。  
※コーミングをしっかり行くと、コームスルーの感触や手触りが明らかに変わります。
- POINT 5 ... 1回で100ccが入らない場合は、プレ処理を2回に分けて行って下さい。  
※ビーワンバランスとビーワンサポートの比率は5:5でなくても結構です。
- POINT 6 ... プレ処理を2回に分けて行う場合は、ヘアリフォーマーの放置時間の合計が8分以上になるようにして下さい。  
※2回目のプレ処理ではビーワン(水)の浸透がよくなるはずですが。
- POINT 7 ... パーマやカラーにムラが出ないよう、しっかりタオルドライをして下さい。  
※パーマやカラーリングをしっかり行うために完全ドライが必要な場合は、タオルドライをしながらドライヤーをかけると、仕上がりがよく時間短縮にもなります。



■ビーワンバランス塗布■



■コーミング■



■ヘアリフォーマー■